

## 学会通信

2022 年度活動報告（敬称略）

### （1）第 23 回総会

2022 年 1 月 29 日（土）11：45～17：20 於：Zoom

#### 1. 研究発表（所属は発表当時）

小林 洵也（千葉大学大学院人文公共学府 博士前期課程）

「Vegan をすることの多孔質性：沖縄における月桃ちまきのライフサイクル」

#### 2. 総会

司会（工藤久貢）

議事（議長：北原卓也、書記：軽部紀子）

事務の理事より、以下の提案および報告があり、審議が行われた。

##### a. 2022 年役員選出

- ・会長、副会長、および理事 13 名の選出が提案され、承認された。

##### b. 2021 年事業報告

##### c. 2021 年決算報告

2021 年収支決算書（次頁）

##### d. 2022 年事業計画案

- ・2021 年の事業に準ずるものに加え、新規事業として、「研究会助成金制度」（仮名）の設立準備などが報告され、承認された。

##### e. 2022 年予算

2022 年収支予算書（次頁）

- ・学術誌発行補助費は、出版日の都合により年度内に 2 巻発行する場合を考慮し、2 巻分の補助費額が計上されている。出版費も同様に、2 巻分が計上されている。

- ・謝金については、例年とは異なり、2022 年は事務局運営のために通年のアルバイト雇用を検討しているため、当該人件費を謝金として計上している。より継続的かつ安定した事務局運営を目指し、2022 年に初の試みとして 2 名のアルバイト（大学院生など）を雇用する。

- ・準備中の研究会助成金の運営が実現した場合には、23 年以降、繰越金から支出する。

以上の点が説明され、承認された。

## 2021年収支決算書

2021年1月1日～2021年12月31日

収 入		支 出		
会費	¥788,000	事業費	出版費	¥462,935
			会場施設費	¥0
会誌売上金	¥35,750	事務費	会議費	¥0
雑収入	¥10		通信運搬費	¥2,850
収入/補助金を除く(A)	¥823,760	人件費	事務用品費	¥0
			複写費	¥0
学会補助	¥95,000	その他	業務委託費	¥217,292
学術誌発行補助費	¥323,388		謝金	¥57,500
学会補助金合計(B)	¥418,388		交通費	¥1,572
			振込手数料	¥1,980
			雑費	¥0
今年度収入合計(A+B)	¥1,242,148	今年度支出合計	¥744,129	
前年繰越金	¥2,292,126	次年繰越金	¥2,790,145	
合計	¥3,534,274	合計	¥3,534,274	

## 2022年収支予算書

2022年1月1日～2022年12月31日

収 入		支 出		
会費	¥800,000	事業費	出版費	¥900,000
			会場施設費	¥0
会誌売上金	¥20,000	事務費	会議費	¥5,000
雑収入	¥0		通信運搬費	¥10,000
収入/補助金を除く(A)	¥820,000	人件費	事務用品費	¥5,000
			複写費	¥5,000
学会補助	¥135,000	その他	業務委託費	¥220,000
学術誌発行補助費	¥620,000		謝金	¥406,000
学会補助金合計(B)	¥755,000		交通費	¥10,000
			振込手数料	¥2,000
			雑費	¥30,000
今年度収入合計(A+B)	¥1,575,000	今年度支出合計	¥1,593,000	
前年繰越金	¥2,790,145	予備費	¥2,772,145	
合計	¥4,365,145	合計	¥4,365,145	

### 3. シンポジウム

テーマ 医学×人類学×臨床——人と向き合う現場からの報告

〈オーガナイザ〉

内藤 順子（早稲田大学）

〈パネリスト〉

浮ヶ谷 幸代（相模女子大学名誉教授）

趣旨説明

藤田 和樹（総合診療医、秩父市大滝国民健康保険診療所）

「『医師化』というプロセス」

中村 香代子（総合診療医、自治医科大学付属病院）

「地域を知る：支援者としての医療を目指して」

土肥 清志（リハビリテーション科医、上野村へき地診療所）

「人類学との対話：医師として、キリスト教徒として」

密山 要用（家庭医、東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院ほか）

「臨床と地域をフィールドワークすること：「健康」と「協働」について考える」

〈コメンテーター〉

清水展（関西大学）

白川千尋（大阪大学大学院）

### (2) 第 25 回研究集会

2022 年 7 月 16 日（土） 於：Zoom

#### 1. 研究発表

新井田ひなの（コロンビア大学社会文化人類学部修士課程 2 年）

「Dance of Japanese diplomacy: Aesthetical analysis of Yosakoi dance's global diffusion」

田井みのり（東京都立大学大学院博士課程後期 2 年）

「現代日本の葬儀における音楽伴奏実践にみるサナトロジー——〈音楽葬〉を事例として」

小宮理奈（東京都立大学大学院博士課程後期 1 年）

「誰の声を拾うのか：難民研究における声の多様性」

大島崇彰（東京都立大学大学院博士課程後期 2 年）

「ローカルを越えて—オセアニアの嗜好品カヴァの生産・消費の変容」

松田 俊介（東北芸術工科大学芸術学部講師）

「民俗行事の継承をめぐる他者性の構図—山形県上山市のコロナ禍における加勢鳥の実施を事例として—」

#### 2. 講演

門田岳久氏（立教大学 観光学部交流文化学科 准教授）

「コンバージェンス、レジスタンス、フォークロア：内在的批判をめぐる」

### (3) 理事会

理事会は、以下の日程で行なわれた。審議内容はおもな議題のみを記した。すべての議事録は事務局に保管されている。

#### 第48回 2022年1月29日(土)

##### 1) 審議事項

- a. 2022年役員および事務局など学会全体の体制について
- b. 2022年(第23回)総会・シンポジウムについて
- c. 2022年度の企画について
- d. その他

##### 2) 報告事項

- a. 会員数動向および財務状況
- b. 編集委員会からの報告
- c. 将来構想WGより報告
- d. その他

#### 第49回 2022年7月16日(土)

##### 1) 審議事項

- a. 2023年1月総会・シンポジウムについて
- b. 研究会助成金制度設立について
- c. 第5回学会奨励賞 選考要項について
- d. 2022年の高校生企画について
- e. 学会誌閲覧PWの件
- f. その他

##### 2) 報告事項

- a. 会員数動向および財務状況
- b. 編集委員会
- c. 企画(委員会)からの開催報告
- d. その他

### (4) 編集委員会

編集委員会は以下の構成および日程で行なわれ、学会誌23巻に関する特集原稿・投稿原稿の査読依頼・審査などの編集・校正業務を担当した。

1. 構成

編集委員長

石田智恵

編集副委員長

箕曲在弘

編集委員（50音順）

相原健志、碓陽子、伊東一郎、砂井紫里、嶋内博愛、塚原伸治、照山絢子、中嶋哲也

2. 開催日程

第63回 2022年4月17日（日）

※以後、タスク管理ツール等を通じて適宜オンラインでコミュニケーションをとった。

(5) 学会誌

『文化人類学研究』第23巻が2023年1月に刊行され、J-STAGEにて公開されている。

(6) 会員動向（刊行物出版）

【書名】 Food Sharing in Human Societies (e-book)

【著者名等】 Nobuhiro KISHIGAMI

【刊行年月】 2022年1月

【出版社】 Springer

【書名】 『世界の仮面文化事典』 東京：丸善出版

【著者名等】 吉田憲司（編集代表）岸上伸啓・新免光比呂・林勲・福岡正太・南真木人編

【刊行年月】 2022年5月

【出版社】 丸善出版

【書名】 『身体を彫る 世界を印す イレズミ・タトゥーの人類学』

【著者名等】 山本芳美・桑原牧子・津村文彦共編

【刊行年月】 2022年6月

【出版社】 春風社

【書名】 日本のコメ問題（中公新書 2701）

【著者名等】 小川真如

【刊行年月】 2022年6月

【出版社】 中央公論新社

【書名】現代日本農業論考

【著者名等】小川真如

【刊行年月】2022年6月

【出版社】春風社

【書名】『環北太平洋沿岸地域の先住民文化に関する研究動向』(SER156号)

【著者名等】岸上伸啓編著

【刊行年月】2022年11月

【出版社】国立民族学博物館

【書名】「贈与論」の思想—マルセル・モースと〈混ざりあい〉の倫理

【著者名等】森山 工

【刊行年月】2022年11月

【出版社】インスクリプト

**(7) 受贈図書・雑誌要目**

- ・小川真如『日本のコメ問題（中公新書2701）』、中央公論新社、2022年6月
- ・小川真如『現代日本農業論考』春風社、2022年6月

**(8) 会員数**

上記の学会活動の結果として、2022年11月30日現在の会員数は278名となっている。

(事務局)